



地区社協・福祉委員会 活動の手引き

社会福祉法人

刈谷市社会福祉協議会

生活支援課

刈谷市役所

福祉総務課

(令和4年4月発行)

目次

- 1 地域福祉とは？ P.1
- 2 地区社会福祉協議会(地区社協)とは？ P.2
- 3 市社協と地区社協の違いは？ P.3
- 4 刈谷市の地区社協 P.4
- 5 市や市社協の支援内容は？ P.6
- 6 地区社協・福祉委員会の活動の流れ P.7

1 地域福祉とは？

地域福祉とは、すべての住民が住み慣れた地域で安心して暮らすことを目標に、地域住民・行政・社会福祉協議会・福祉サービス事業所などが協力して取り組む福祉のことです。

年齢、性別、国籍、障害の有無にかかわらず、すべての住民が地域福祉活動の対象です。



なぜ、地域福祉が重要とされているの？

少子高齢化や働き方の変化、核家族化などによって、以前はあったご近所さんどうしのつながりが希薄化しています。地域のつながりがないと、日頃の支え合いができないのはもちろん、災害時に助け合うことも難しくなってしまいます。

そこで、人と人とのつながりを再構築し、助け合い・支え合いができる地域をつくるために、地域福祉が注目されています。



「福祉」って助けが必要な人だけが対象ではないの？

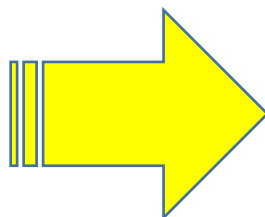
「福祉」という言葉は、以前は「高齢福祉」「障害福祉」のように対象を限定して使われることが多く、助けが必要な人だけのものだと思われてしまっていました。

しかしもともと「福祉」とは、社会の構成員に等しくもたらされるべき幸福のことだと定義されています。つまり、助けが必要な人のような特定のだれかだけでなく、みんなが幸せになるための取り組みのことを指します。

『ふ』だんの

『く』らしを

『し』あわせに



特定のだれかだけでなく、**みんなが幸せ**になるための取り組み

2 地区社会福祉協議会(地区社協)とは？

1 地区社会福祉協議会(地区社協)とは？

地域の問題を解決しようとしても、公的なサービスだけではすべて解決することはできない時代であるとともに、一人ではできることも限られてきます。

そのため、地域の住民同士が、自分たちが住んでいる地域の生活・福祉課題や困りごとを情報共有しながら、互いに助け合い、支え合う活動をしていき、「誰もが安心して共に暮らせる福祉のまちづくり」を目指す、地元住民主体の活動組織団体です。

2 なぜ地区社協が必要なのです？

地域の住民同士が地域の生活・福祉課題や困りごとを解決しようとしても、一緒に考えていく場がなければならぬし、組織化していなければ、継続して協議することができなくなることが想定されるためです。

そのため、地域の生活・福祉課題の解決に向けて、協議できる場を設け、解決に向けて協議されることが重要であると考えています。

3 地区社協は何をするの？

地域の住民同士が生活する地域の生活・福祉課題や困りごとを解決に向けて、一緒に考え、実行していくことが目的です。

そのために、地域の状況に合わせて以下のような活動が全国で展開されています。

ふれ合う	学ぶ	支える	見守る	知らせる	募る
<ul style="list-style-type: none">ふれあいサロンコミュニティーカフェ交流会	<ul style="list-style-type: none">福祉講演会福祉講座ボランティア養成講座	<ul style="list-style-type: none">地域組織の支援(ボランティアグループなど)避難行動要支援者への支援	<ul style="list-style-type: none">見守り活動声かけ運動	<ul style="list-style-type: none">便り・通信の発行	<ul style="list-style-type: none">バザーの開催

誰もが安心して暮らせるまちに、地区社協は欠かせません！

3 「市社協」と「地区社協」の違いは？

市社協は住民や関係機関等と一緒に、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指すため、地域福祉の推進を使命とする民間の福祉団体です。しかし市社協だけでは限界があり、誰もが安心して暮らせるまちにすることはできません。そのため、住民の方からの「声を聴き」、住民と「共に考え」「共に支え」「共に動く」を基本として事業展開していますが、その1つに地区社協が必要であると考えています。

市社協は、地区社協を地域福祉推進の基礎組織として考え、車の両輪となって協働し、地域の生活・福祉課題を把握し、一緒に考え、解決に向けて取り組んでいきます。

	市社協	地区社協
性格	『社会福祉法に位置づけられた民間団体』 市区町村の社協は民間団体ですが、社会福祉法という法律のなかで、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として位置づけられています。	『福祉推進の自主組織』 法的な位置づけはなく、住民の自主組織です。 愛知県でも約半数の市町村で地区社協が設立されています。
対象地域	『市域全体』 市全体を視野に入れ、幅広い地域を対象にしています。	『地区ごと』 刈谷市では2中学校区に1つ地区社協は設立されています。
取り組み	『福祉コミュニティ社会づくり』 全市的な福祉課題・ニーズへの取り組みや、ボランティア活動や地区社協支援などの地域福祉活動の他、介護事業などに取り組んでいます。	『住民相互活動の取り組み』 生活・地域課題となっていることに対して、住民の助け合いによって解決できるように、取り組みをされています。刈谷市の場合は福祉委員会が活動主体となっており、地区社協は情報共有の場となっています。
組織構成	『地域で暮らす住民の皆様、社会福祉関係の事業者・活動者』 地域で暮らす住民の皆様、社会福祉や保健、医療、教育等の関連分野の関係者、さらに、地域社会の様々な機関・団体	『地域に密着した団体・個人』 刈谷市の場合は福祉委員会が地区社協の構成団体となっており、福祉委員会の構成員が地域に密着した団体・個人となっています。

4 刈谷市の地区社協

刈谷市では市を北部・中部・南部の3エリアに分け、それぞれで地区社協が設立されていますが、各地区社協で組織形態やメンバーが大きく異なります。

	北部地区社協	中部地区社協	南部地区社協
設立年度	平成24年度	令和元年度	平成28年度
活動範囲	富士松・雁が音中学校区	刈谷南・刈谷東中学校区	依佐美・朝日中学校区
メンバー	北部地区で活動するボランティア団体	<u>福祉委員会</u>	<u>福祉委員会</u>

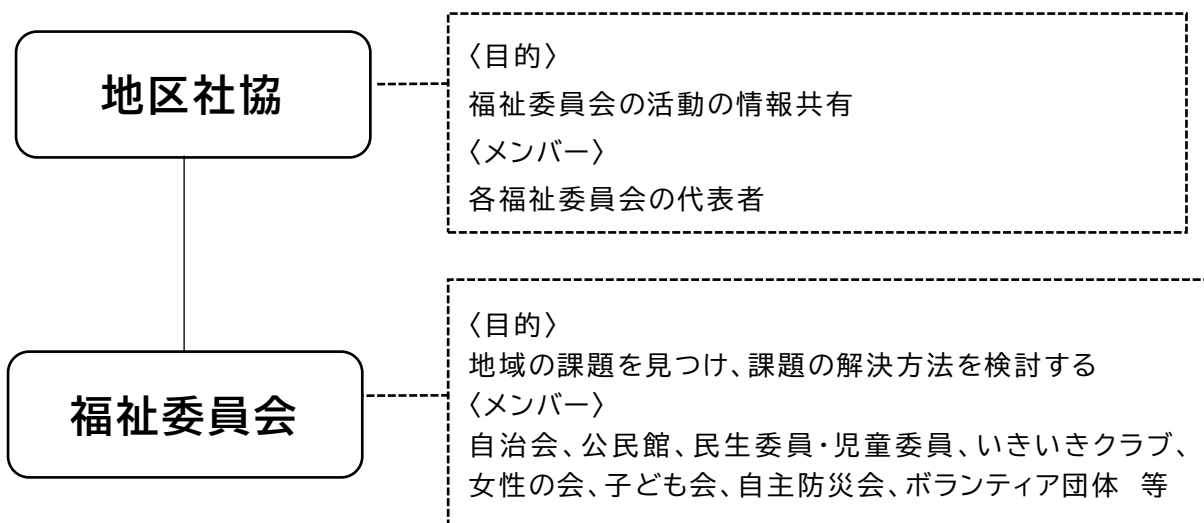


福祉委員会とは？

中部地区、南部地区では、地区社協を構成する組織として「福祉委員会」を設立しています。地区社協では活動範囲が広すぎて、きめ細やかな活動がしづらいと考えたためです。

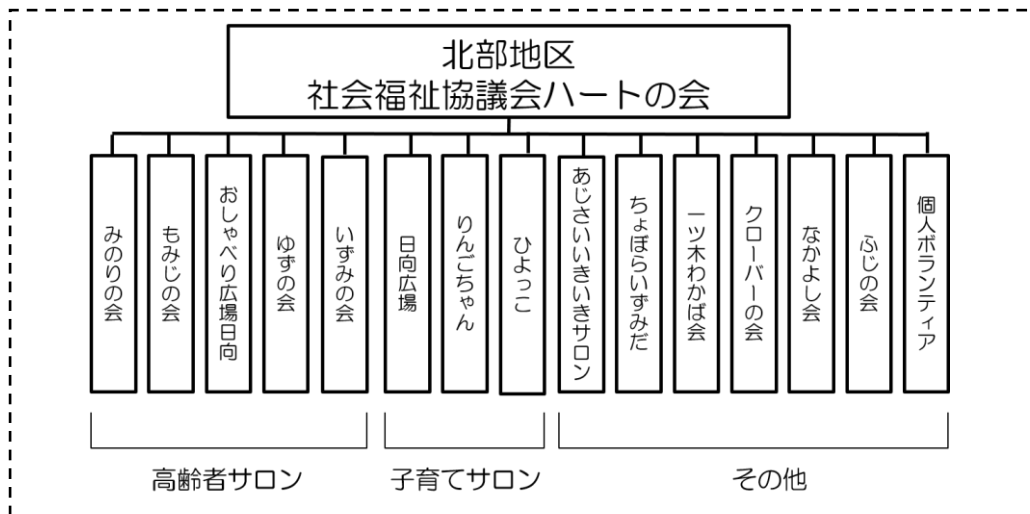
福祉委員会は、自治会を単位として設立されています。自治会、公民館、民生委員・児童委員など地域で活動している人が集まり、その地域の課題を見つけたり、課題解決に向けて取り組んだりしています。

地区社協は、各福祉委員会の活動の情報共有をする役割を果たしています。

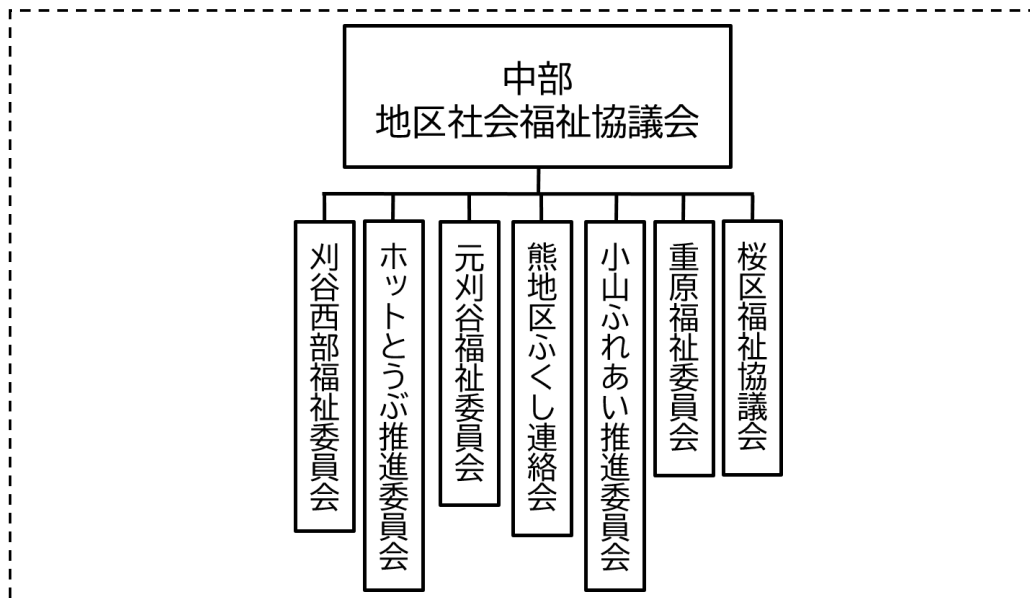


[地区社協組織図]

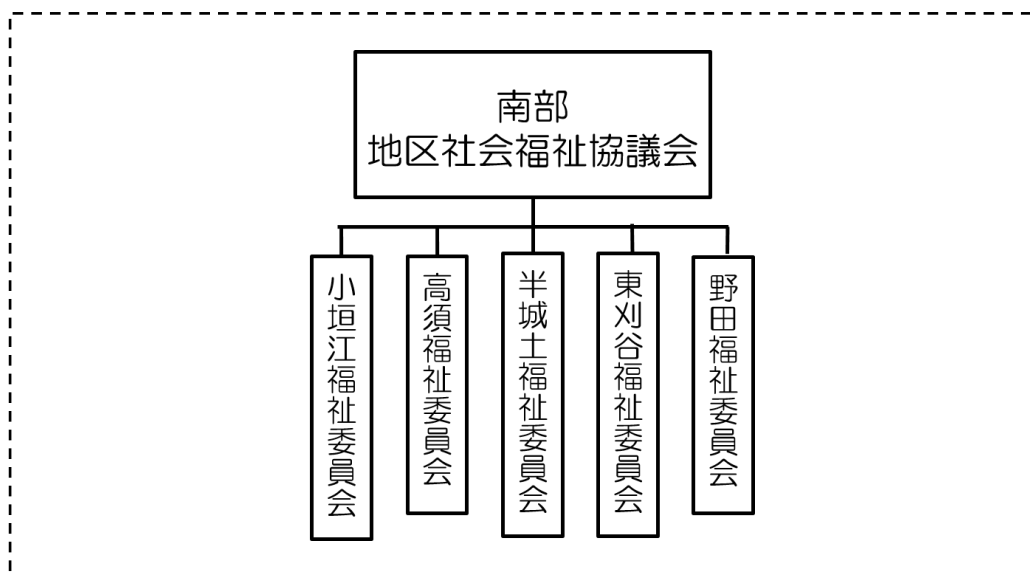
北部



中部



南部



5 市や市社協の支援内容は？

市や市社協は地区社協の組織化や意見・情報交換、資質向上に向けた取り組みなどにより、地区社協が活動しやすくなるような支援をします。



市や市社協は、具体的にどんな支援をしてくれるの？

市や市社協は、地区社協・福祉委員会のサポート役として、以下の支援を行います。

- 活動費の助成(年8万円)
- 活動アイデアの提案、助言
- 会議の日程調整、資料作成、進行補助、記録作成

地区社協・福祉委員会の活動が円滑にすすみ、みなさんの負担にならないように、市や市社協が担える事務作業をお手伝いします。

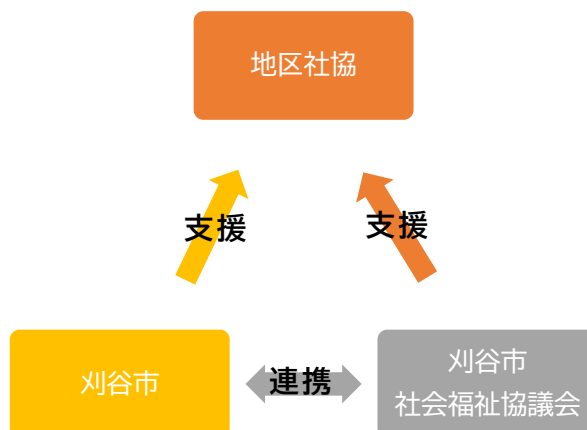


市・市社協・地区社協は地域づくりをともに行うパートナー！

地域課題の中には、地区社協・福祉委員会では解決できないものもたくさんあります。

逆に、住民組織である地区社協・福祉委員会だからこそ解決できる課題もあります。

制度のもとに動く市、専門職が集まる市社協、地域のことを一番知っている地区社協・福祉委員会は、地域づくりをともに行うパートナーとして、協力して地域課題の解決に取り組みます。



6 地区社協・福祉委員会の活動の流れ

1 地域の中の横のつながりをつくる

地域の課題を解決する第一歩は「地域の中の横のつながりをつくる」ことです。

地区によっては団体どうしのつながりが薄く、それぞれどのような活動をしているか把握していないこともあるかもしれません。

まずは顔を合わせて横のつながりをつくり、お互いの活動を知ります。活動を知ることによって新たな発見があったり、自分の団体の活動に生かすことができたりします。

2 地域の課題を出し合う

横のつながりをつくりながら、地域の課題を話し合います。「地域の課題」というと漠然として分かりづらいので、各団体が抱える課題を出し合うのもいいかもしれません。課題を話し合うことで、「1個人・1団体が抱える課題」が「地域全体が抱える課題」に変わります。

3 地域課題を整理する

次は出てきた地域課題を整理します。

出てきた課題すべてをいきなり解決することはできません。また、地区社協・福祉委員会では解決できない課題も含まれているかもしれません。

そこで、「この地域課題は地区社協・福祉委員会で解決できるのか」「早く解決すべき課題は何か」など、地域課題を整理することで、今取り組むべき課題が見えてきます。

4 課題の解決方法を検討し、活動を始める

地区社協・福祉委員会として取り組む課題が決定したら、その解決方法を検討します。

地区社協・福祉委員会はすべてにおいて実施主体である必要はありません。活動に応じてボランティアを募集したり、関係団体と協力したりして取り組みます。

また、課題の解決アイデアが思いつかない場合は、他の地区社協・福祉委員会の活動を参考にするのも1つの手です。地区社協及び福祉委員会の実際の活動は、3地区社協合同の「地区社会福祉協議会ブログ」に記載していますので、ぜひ参考にしてください。

右のQRコードを読み込むと、ブログにアクセスできます！

